

グループホーム「櫻」第22回運営推進会議議事録

日時 平成23年12月20日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 1F 食堂
出席者 運営推進会議委員
逗子市福祉部 介護保険課長 舘 兼 好
(代理・須田様)
社協：地域包括支援センター管理者 渡 邊 誓 子
逗子市民生委員 枡 本 文 江
ご家族代表 今 井 真知子

(委員5名 4名 出席)

医療法人社団柏信会	総看護部長	岩 木 和 子
グループホーム「櫻」	管理者	菅 谷 弘 子
	事務長	遠 藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

定刻、管理者は各委員に年末繁忙の時期、本委員会の出席を謝し法人理事長所要のため欠席する旨を伝え開会を宣すると共に議事の進行及び報告等を事務長に指示する。

それを受け事務長は、配布資料を確認した後、会議次第に基づき資料及び口頭により以下の報告説明を行なう。

2. 議題

(I) 報告事項

運営状況(現況)等について

ア 入居者の現況及び活動状況について(資料)

入居者の現況

9月の委員会時から今回までの間に変化のあった数値のみ要約して報告する。

2F：男性(介護度3 92歳)1名が入居された。また、加齢等で平均年齢が若干増加した。男性3名、女性6名で前回より要介護3が1名増で平均年齢が0.89歳高くなりました。

1F:入居者には変化なく年齢のみ0.11歳増となりました。
なお、資料作成後の12月11日、2Fで女性(要介護5
97歳)1名が入院により退所され、現在、空室1であることを
補足。

活動状況

広報紙「さくら10～12月号」により概要を紹介。以下につい
て口頭で補足した。

広報誌による報告が1ヶ月遅れとなりますが、10月号ではグリー
ンハウス逗子で開催された「東北復興チャリティー秋祭り」に全
員で参加した他、敬老の日は「櫻」主催のミニコンサート、ギター
演奏(ギターアンサンブル)及び鎌倉五人姉妹による吹奏楽等を2
日間に亘り実施。11月号は室内運動会やお誕生会、12月号は逗
子市の文化祭で観菊、米寿のお祝いをご家族様の参加を得て実施し
ました。

イ 「櫻」1年の総括について(資料)

介護職員の現況以外は既に報告等がなされた事項を纏めたもので、
特に新味はないが年間実施状況として資料により、概要を補足しつ
つ報告する。

介護職員の現況については、資料の各項目を要約して報告。

ウ 同業種施設との交流について

口頭により以下について報告。

前回の委員会でご報告いたしましたが、逗葉地域のグループホーム
間の相互交流(研修)を先ほどの総括でご報告したとおり無事終了
いたしました。

当初、6施設の予定であったが実際に賛同し受け入れたのは5施
設でした。各施設は同一の研修者が各施設を回っていましたが、
「櫻」は各施設に1名を割り振り参加させました。

本来なら研修結果をご報告する予定でございましたが、各施設の評
価にもなり、差し障りもありますので、結果については「櫻」の運
用の参考として活用させて頂き、参加スタッフ5名もそれぞれ非常に
参考になったので今後に生かしたいとのコメントを添えてご報告
と致します。

(II) その他

報告終了後は例により懇談形式で意見交換等を行った。主に介護職

員の現況からの質疑が多かった。

主な発言内容は以下のとおりであった。

Q 逗葉地区グループホーム連絡会の実施した相互研修結果の活用について、各施設の運用面、職員のスキルアップ施策、福利厚生面等、高い視点から捉え今後の事業に反映させるべきだ。

A 各施設それぞれの思惑で参加しており、「櫻」としても連絡会初めての交流研修であり、とりあえず各施設の状況を見て来ることに重点を置いた。その結果については個々に報告させ「櫻」が進む道の糧としている。

Q 介護職員のライセンスを生かした介護を行うためにも、介護福祉士のライセンス取得に向け施設も職員も努力すべきである。

モチベーションを高め介護サービスの向上を図ることが強いては「櫻」のPRにつながる。

職員の有資格者が多ければそれだけ上質のサービスが行われ施設の信用も増して相乗効果が期待できる。本人のモチベーションを高める施策が望まれる。

A 現在の介護職員の賃金から、小規模な施設に若手の優秀な人材は応募してこない。「櫻」としても先ずは人材の確保が優先され、採用した職員に対し時間をかけて教育をする。また資格取得希望者には勤務調整や休暇の付与等の便宜供与しか出来ない状態である。

また、パート職員で週2日程度の勤務者に費用と時間をかけてライセンスを取得しても、それに見合った賃金を支払うことは出来ない。介護福祉士の資格があってもそれを生かした仕事が出来ない者、その資格が無くても、それ以上の仕事出来るもの等、介護に対するポリシーの個人差が大きい。

だからと言って座して居るわけではなく、可能な限りの努力をしているところであるが、頂いた貴重なご意見を参考にしながら職員のスキルアップを目指し介護サービスの質的向上を目指して行きたい。

以上のほか付随した同趣旨の発言があったが割愛する。

3 閉会の辞

議案等の終了を見届け予定時刻前ではあったが、管理者は各委員に対し次回の開催を確認（24年3月27日 火曜日）すると共に、本日の出席を謝し閉会を宣した。